

令和6年11月23日(土・祝)に開催された、「市民とふれあい消防フェスタ」へ、水道事業PRブースを出展しました。その中で、来場者を対象としたアンケートを実施しましたところ、4件のご意見をいただきました。
つきましては、ご意見の概要と、これに対する今治市上下水道部の考え方を以下に掲載します。

	水道利用者からの意見	今治市上下水道部の考え方
1	玉川ダム湖は、ボートの練習場などとして、市民に開放されていて嬉しいのですが、水道の水質に影響するのではないかと、時折、懸念をいただいています。	油事故やテロなどのリスクは考えられます。その対策として、玉川ダムを水源とするバリウオーター（高橋浄水場）では、常に監視する機器や、浄水する装置など最新の設備を導入しています。 具体的には、常に監視する機器は、油分の検知や毒物などに敏感な小型の魚「ヒメダカ」の動きを画像で解析して、自動で異常を検知する装置です。 また、浄水する装置は、細菌類も通さない「膜ろ過装置」という最新の装置を採用しています。 これからも水質検査による品質確認とあわせて、万全の管理をまいります。ご安心してご使用ください。
2	全国に先駆けた移動浄水車は素晴らしいと思います。各島に配備するなど、住民が孤立した際の支援に役立ててほしいです。 また、将来の限界集落において、上水道の維持が困難になった場合に利用すると良いと思います。 1台当たりの導入コストは、非常に高額と聞きますが、10台、20台導入しても良いと思います。	浄水車で実際に能登半島地震への災害派遣に行って、活躍することができ、良いものだ実感することができました。 今後、緊急の場合でも安心安全な水を供給できるよう、浄水車を含め様々な対策案を検討してまいります。
3	数年前に水道管の工事をしてから、夏場の水道水の温度がものすごく温くなりました。他の地域の人に聞いても、同じことを言う人がいます。 水道水が温水だと、お米を研ぐのに困るし、夏場に飲むのも辛いです。 改善できるなら、してほしいです。	水道水の水温が上がる原因はいくつか考えられますが、お住まいの地域により水道管の状況が異なりますので、お困りの際は水道工務課(0898-36-1575)までお問い合わせください。 一般的には、次の原因が想定されます。 家庭用の給水管は、地上から浅い位置に埋められていることが多く、より地熱の影響を受けやすい状態にあります。また、コンクリートなどの周辺環境によっても熱の影響に差が出ます。 ご家庭でできる対処法としては、次の方法があります。 水道水の水温が高いときは、蛇口から水を出すことで、宅地内で温まった水が入れ替わり水温が下がる場合があります。なお、水を出して入れ替えを行っても、水道料金は免除されませんので、トイレやお風呂、散水用などにご利用ください。
4	ウオーターサーバーと水道水を併用していますが、水道水の薬品臭や味が気にならず、飲水として普通に使用しています。	今治市の水は市販のボトルウオーターに比べてミネラル分がやや少ない軟水でクセが少なく、あっさりした飲み口です。 水道水は消毒のための塩素が含まれていますので、臭いが気になる時は、冷蔵庫で冷やしていただくか、一度沸騰させたお湯を冷ました状態(湯冷まし)でご利用ください。 今後とも気持ちよくお飲みいただける水道水の供給に努めて参ります。